



いわた じょうじ
岩田 譲治

質問

QUESTION

どう組む

31年度予算

回答

ANSWER

企業誘致の初年度に
したい

「町長」

質問

平成19年度予算
から公表が義務

付けられた、自治体財政に関する「健全化判断比率」の4つの指標が、9月の議会全員協議会と広報あんぱちで公表されました。

公表された「実質公債費比率」、これは一般会計が負担する借金の比率をいいます。県

下42市町村の平均は5・8%に対し、当町は悪い方から6番目の自治体で12・2%と高く、ここ数年高い値で推移しています。

また、将来に向かつて示す「将来負担比率」では、県下で当町は悪い方から2番目、97・2%で、当町の財政は将来も大変厳しいことが予想されます。

基金残高（目的のために資金を積み立てて使う町の貯金）は、平成27年度は約6億5000万円あったものが、平成28年度には約5億円に減り、平成29年度には約2億4000万円に減少しています。そして平成29年度末の借金は約134億円あります。うち約64億円が下水道の借金です。このような状況ですから、町の「経常収支比率」は臨時財政対策

債を含めて84・2%と高く、町が新しい事業をしたり、積極的かつ多額の投資は難しいと思います。

また、「財政力指数」をみても、ここ3年間は0・63と低く、留保する財源が少ないことがうかがわれます。このような財政難の中、当町をどのような方向に向かわせようとお考えですか。

回答

本町の財政状況はどの数値をみても、非常に厳しい状況です。これを好転するため、スマートIC周辺の土地利用を見直し、企業誘致をメインにし、観光・産業の発展、そして町の活性化へつな

げ、『若者や子どもたちを優しく包摂（ほうせつ）受け入れて守ること）するまちづくり』の実現に向け、努力し続けます。

質問

平成31年度予算は、どのような事業を主に取り組む予定ですか。

回答

基本的にはこれまでの事業を継

続していく予定です。具体的には

- ①早期の健全な行財政が運営できる土台づくりの整備（経常的経費の削減など）。
- ②土地利用の見直しで企業誘致の初年度にしたい。
- ③スマートIC入口道路



県道間アクセス道路の工事（中地内）

（アクセス道路）の長良川堤防への接続工事で町内の交通量の減少を図り、より安全なまちづくりを進めます。

- ④新年度から6保育園が「認定こども園」に移行します。エアコンの設置などの調査、検討を進めます。
- ⑤水道配水場の更新工事も継続して進め、災害に強い水道設備を目指すなど、強い信念と危機感を持ち、行財政運営に努めます。